

---

# 諸外国のデジタルラジオの状況

---

株式会社 三菱総合研究所

平成17年2月2日

## 【目次】

1	英国のデジタルラジオの現状-----	1
2	米国のデジタルラジオの現状-----	14
3	その他の主要国のデジタルラジオの現状-----	19

# 英国のデジタルラジオの現状

---

# 英国のデジタルラジオの現状(全体像)

使用周波数帯域: 217.5MHz ~ 230MHz (12.5MHz) を7ブロックに分割し割当

## < 全国サービス >

## < 地域サービス >

放送局

**アナログサイマル(6)**  
BBC Radio 1-4, BBC Five Live  
BBC World Service

**デジタル専門(5)**  
BBC Radio Five Live Sports Extra  
BBC6music, BBC7, Asian Network  
1Xtra

**アナログサイマル(3)**  
Classic FM, Virgin Radio,  
talkSPORT

**デジタル専門(5)**  
Core, Life, Oneworld Radio,  
Planet Rock, PrimeTime Radio

BBC-Local (32)  
地域民放159局  
が展開

資本系列にグループ化

マルチプレックス

BBC

Digital One

地域マルチプレックスは、  
全国で46存在  
(’04年末)

< マルチプレックスが、放送されるチャンネルを決定、その多様性を確保 >

出資

出資

出資

**DRDB (Digital Radio Development Bureau)**  
BBCとラジオグループが出資して設立・デジタルラジオに関する  
放送事業者、メーカー、小売業者を結ぶ包括的マーケティングを実施

メーカー

小売業者

視聴者

マルチプレックスはソフト側事業者として  
チャンネル編成を実施(ハード事業者は別に存在)

# 英国の商業アナログラジオの業界構造

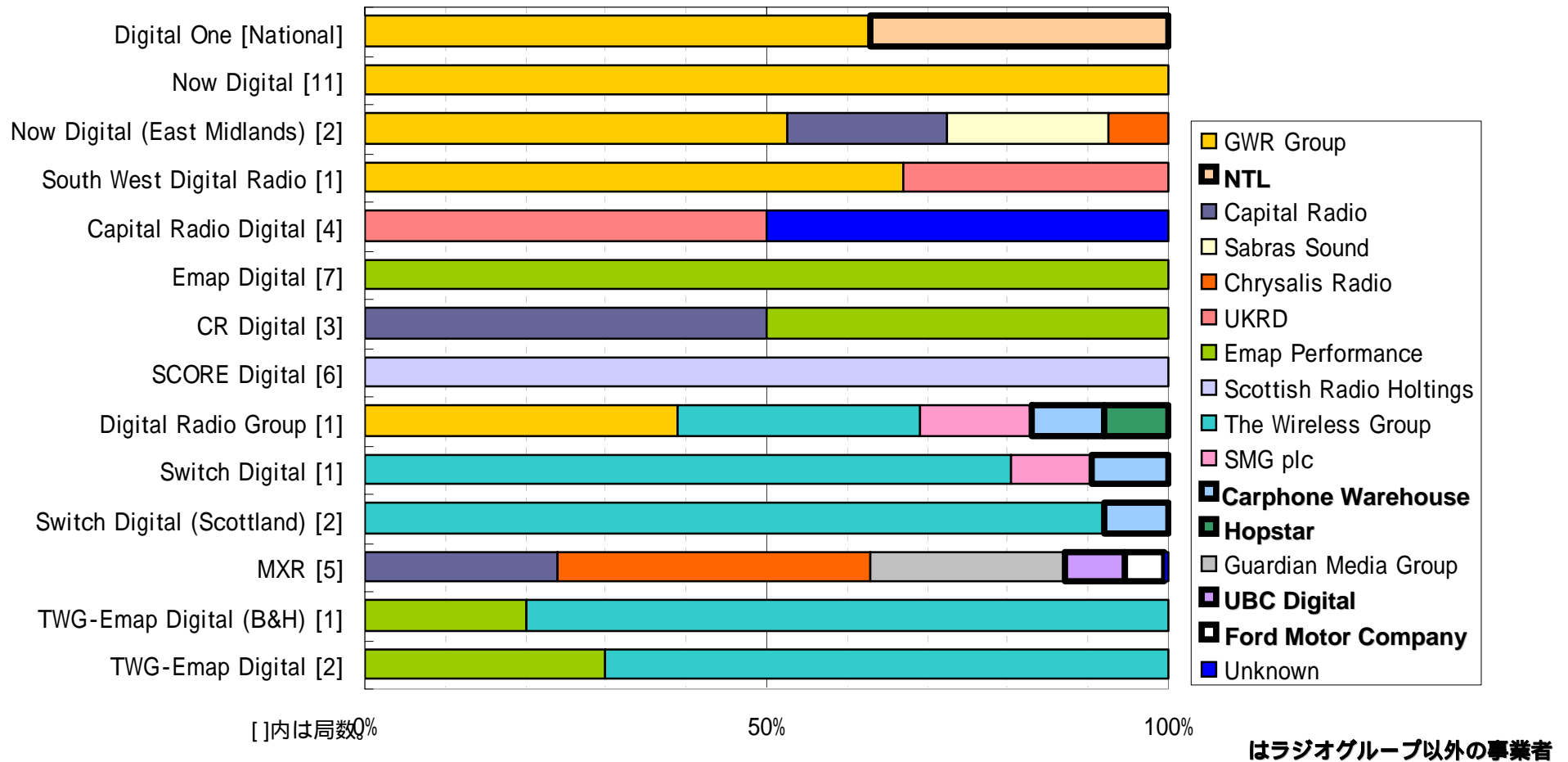
英国のラジオ業界は、BBC及び商業放送で構成されるが、商業放送については、主要放送局グループにより系列化されている。

系列会社	局数
Brighton & Hove Radio Ltd	2
Capital Radio plc	20
Chrysalis Radio Ltd	8
Classic Gold Digital Ltd	19
CN Group Ltd	8
EMAP Performance Network	11
Forward Media	2
Guardian Media Group	5
GWR Group plc	34
Kent Messenger Group	5
Kingdom FM Ltd	3

系列会社	局数
Lincs FM plc	8
The Local Radio Company Ltd.	27
Milestone Group	5
SAGA Radio	3
SMG	2
Scottish Radio Holdings plc	21
Sunrise Radio	6
The Wireless Group plc	17
Tindle Radio Limited	10
UKRD Group Ltd	14
BBC	48

# 英国の商業デジタルラジオの業界構造

デジタル・マルチプレックス事業者は、その大部分がラジオグループの出資により設立されている。



(2004.11)

# ロンドンのデジタルラジオ放送局一覧(1)

全国マルチプレックス

## BBC

No	station	Simulcasting	genres	bitrate
1	BBC Radio 1	FM	The best new music	128 k
2	BBC Radio 2	FM	Music & Entertainment	128 k
3	BBC Radio 3	FM	Classical,Jazz,World,Arts,Drama	(128 -) 192 k
4	BBC Radio 4	FM	Intelligent speech	(80 -) 128 k
5	BBC Radio Five Live	AM	Live news - live sport	80 k
6	BBC World Service	AM / FM	News in 43 languages	64 (- 80) k
7	1Xtra	-	New black music	128 k
8	BBC 6 Music	-	Closer to the music that matters	128 k
9	BBC 7	-	Comedy,Kids & Drama	80 k
10	BBC Asian Network	-	Music,news and views	64 (- 80) k
11	BBC Five Live Sports Extra	-	More live sport	80 k
-	Test BBC Guide	-	Data	-
-	BBC Vision Radio	-	Data	-
-	BBC Travel	-	Data	-

## Digital One

No	station	Simulcasting	genres	bitrate
1	Classic FM	FM	Classical	160 k
2	Core	-	Contemporary Hit Radio	128 k
3	Life	-	Adult Contemporary	128 k
4	Oneword	-	Speech Radio	(64 k)
5	Planet Rock	-	Rock	128 k
6	Prime Time	-	Adult Contemporary,Golden oldies	128 k
7	talkSPORT	AM	Sport	64 k
8	Virgin Radio	AM / FM	Rock	160 k
-	DataServe	-	Data	8 k
-	test_8k	-	Data	8 k
-	The Digizone	-	Data	32 k

# ロンドンのデジタルラジオ放送局一覧(2)

## 地域マルチプレックス

### Greater London

No	station	Simulcasting	genres	bitrate
1	Capital Disney	-	Children	64 k
2	Capital FM	FM	Contemporary Hit Radio	160 k
3	Capital Gold	AM	Gold	128 k
4	Century	-	Adult Contemporary	128 k
5	Kiss	FM	Dance	128 k
6	LBC 97.3	FM	News	64 k
7	LBC News 1152	AM	News	64 k
8	Magic	FM	Adult Contemporary	128 k
9	Smash Hits	-	Contemporary Hit Radio	96 k
10	Sunrise	AM	Asian,Ethnic	64 k
11	XFM	FM	Specialist Alternative Music,Rock	128 k
-	DAB Guide	-	Data	8 k

### Greater London

No	station	Simulcasting	genres	bitrate
1	Galaxy	FM	Dance,RnB	128 k
2	Heart	FM	Adult Contemporary	128 k
3	Jazz FM	FM	Jazz	128 k
4	Kerrang!	FM	Rock	112 k
5	Saga	-	Adult Contemporary,Gold	128 k
6	The Hits	-	Contemporary Hit Radio	96 k
7	Travel Now	-	News	-
8	Virgin Groove	-	Motown,Disco,Soul	128 k
9	YARR	-	Asian,Ethnic	64 k
10	Spectrum Radio	AM	Ethnic	64 k
11	BBC London	FM		128 k

(注) は、他地域のアナログ放送をロンドンにおいてサイマル放送していることを表す。

### Greater London

No	station	Simulcasting	genres	bitrate
1	Abracadabra	-	Children	80 k
2	Classic Gold	-	Gold	80 k
3	Gaydar	-	Adult Contemporary	128 k
4	Heat	-	Contemporary Hit Radio,Dance,RnB	64 k
5	Panjab Radio	-	Asian,Ethnic	64 k
6	Passion for the Planet	-	Adult Contemporary	96 k
7	SBN	-	Contemporary Hit Radio,Student	-
8	Storm	-	Rock	128 k
9	The Arrow	-	Rock	128 k
10	The Mix	-	Adult Contemporary	80 k
11	Urban Choice	FM	Dance,Reggae,RnB,Soul	128 k
12	Virgin Classic Rock	-	Rock	128 k
13	Easy Radio	AM	Country	80 k

# ポイント1 英国デジタルラジオ概況

## < デジタルラジオを巡る概況 >

ラジオ産業の市場規模は11億ポンド。民放が48%、BBCが52%を占める。

ラジオ聴取総時間は過去5年間で7%増加。2/3以上の聴取者が家庭で聴取。

80万台のDAB受信機が04年9月末までに販売。そのうち17万6千台が03年のクリスマス商戦で販売。放送開始当初、専用端末はベンチャー企業によって市場に投入され、牽引役となった。

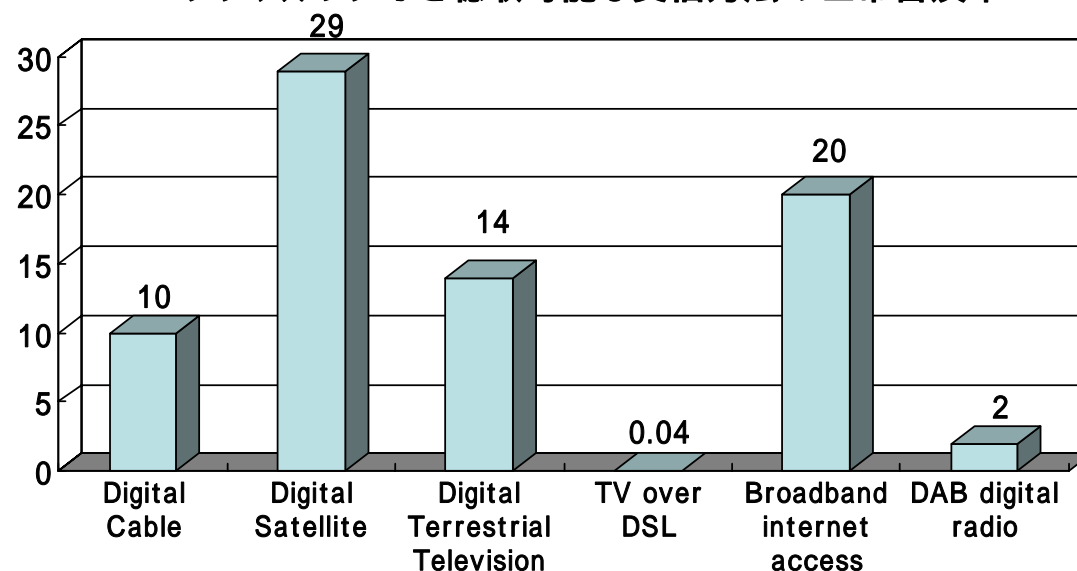
英国内におけるデジタルラジオの人口カバレッジは、全国放送(Digital One社)、ローカル放送ともに86%に達している。BBCも同水準にまもなく達するとの予測。

DAB普及の理由としては、高音質、音声番組数の増加、受信性能の向上。

DABの受信方法としては、専用端末の普及率は2%にとどまっております、デジタルテレビやインターネットなど多様な受信方法が普及を牽引。

DigitalOneとBritish Telecomは、連携して2005年中に文字情報・ダウンロード・ビデオクリップ等高度なデータサービスを立ち上げる予定。

デジタルラジオを聴取可能な受信方法の世帯普及率



# 英国デジタルラジオ普及における推進役(1)

## < デジタルラジオ推進におけるBBCの役割 >

DABの推進母体として、英国のみならず世界へのDABの普及を牽引。

1995年9月にBBCが初めて全国マルチプレックスを展開し、1999年11月にDigital Oneが放送を開始するまでの間、デジタルラジオ普及促進の主役。

デジタルラジオの受信機普及を担うDRDBに、Digital Oneと並び出資。

民間では困難な領域での積極投資

地域マルチプレックスのベースユーザーとして、政策的にも市場的にも先導役。

自らの豊富なコンテンツアーカイブを提供すると共に、テレビ、インターネット、アナログラジオ等の活用したクロス・プロモーションを展開。

図：DAB普及経緯とBBCアクション



# 英国デジタルラジオ普及における推進役(2)

## < デジタルラジオ推進におけるDRDBの役割 >

放送事業者、端末機器メーカー、販売店を組織化してDAB端末普及を図るプロモーター

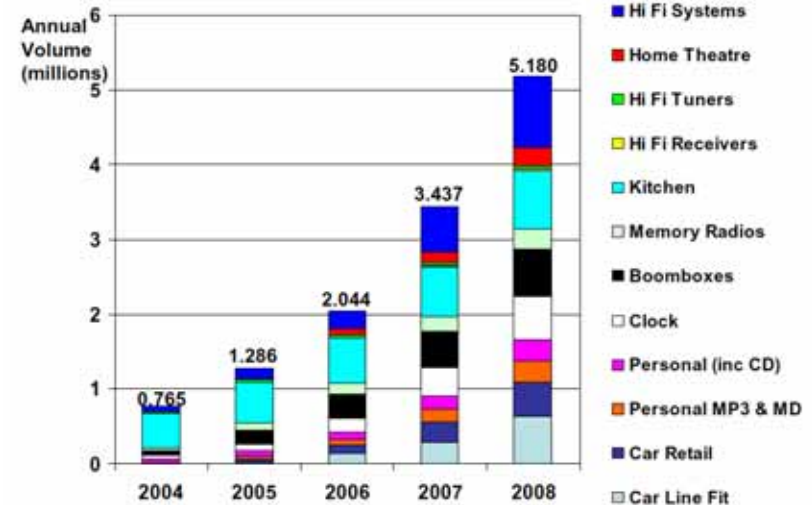
DAB方式の世界的普及を図る推進役

調査研究(シンクタンク)機能を有しDAB市場の動向分析や端末の改良提言等を展開

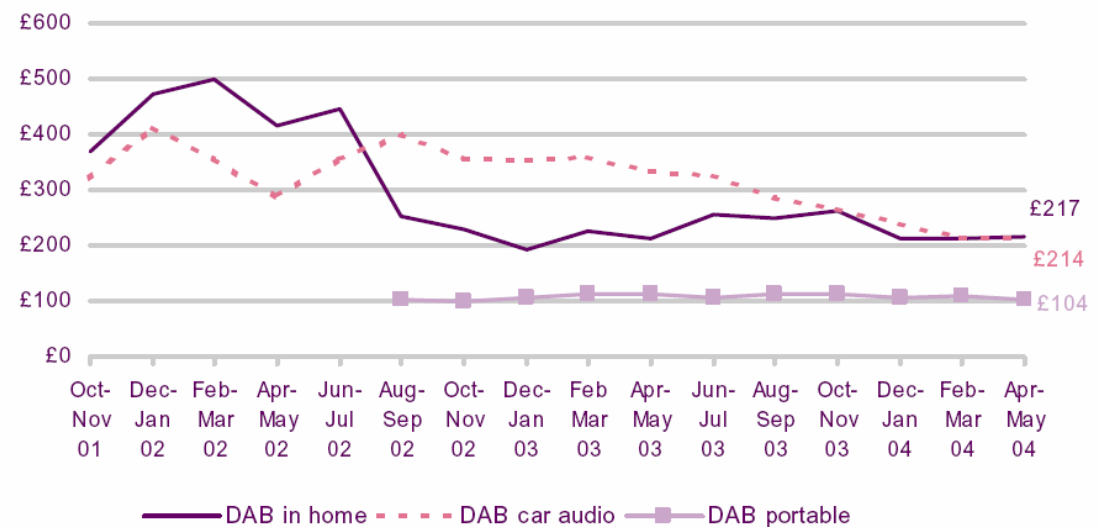
ユーザーに向けてのDABのピーアールおよび各種情報発信

BBCとDigitalOneが軸となり他マルチプレックスの出資により設立

図：DRDBによるDAB端末普及予測



図：DAB端末の販売単価の推移



## ポイント2 英国デジタルラジオ事業構造(1)

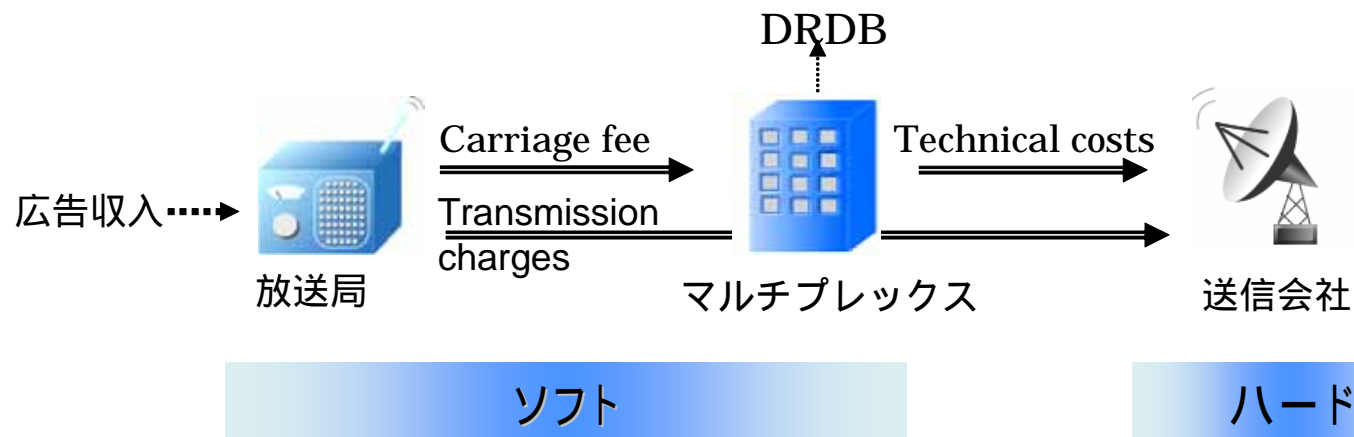
### < デジタルラジオ事業の概況 >

Digital One社は、英国でのデジタルラジオ普及の長期的な促進と市場の刺激をライセンスの条件として課されている。また、送信設備とライセンス期間中の業務に1億5千万ポンドの投資を行っている。

デジタルラジオでは、159の商業ローカル局でサービスが行われている。

- ・159局中118局については、アナログ放送免許と同じ地域においてサイマル放送を行っている。
- ・159局中14局については、アナログ放送免許と異なる地域において同様のコンテンツを提供している。
- ・159局中27局については、デジタル専門局としてデジタルのみでの新たなサービスを行っている。

マルチプレックス事業者は、放送局から運営費を徴収して運用している。(基本的には一律だが、放送局の収益によって変わることもある。)他方、主な支出項目は送信会社へ支払う技術コスト、DRDBに支払うマーケティング費用、そしてライセンス料など。実際にはラジオグループがマルチプレックスを所有しており、ラジオ局の収入と相殺して利益を上げられるようにしている。



## ポイント2 英国デジタルラジオ事業構造(2)

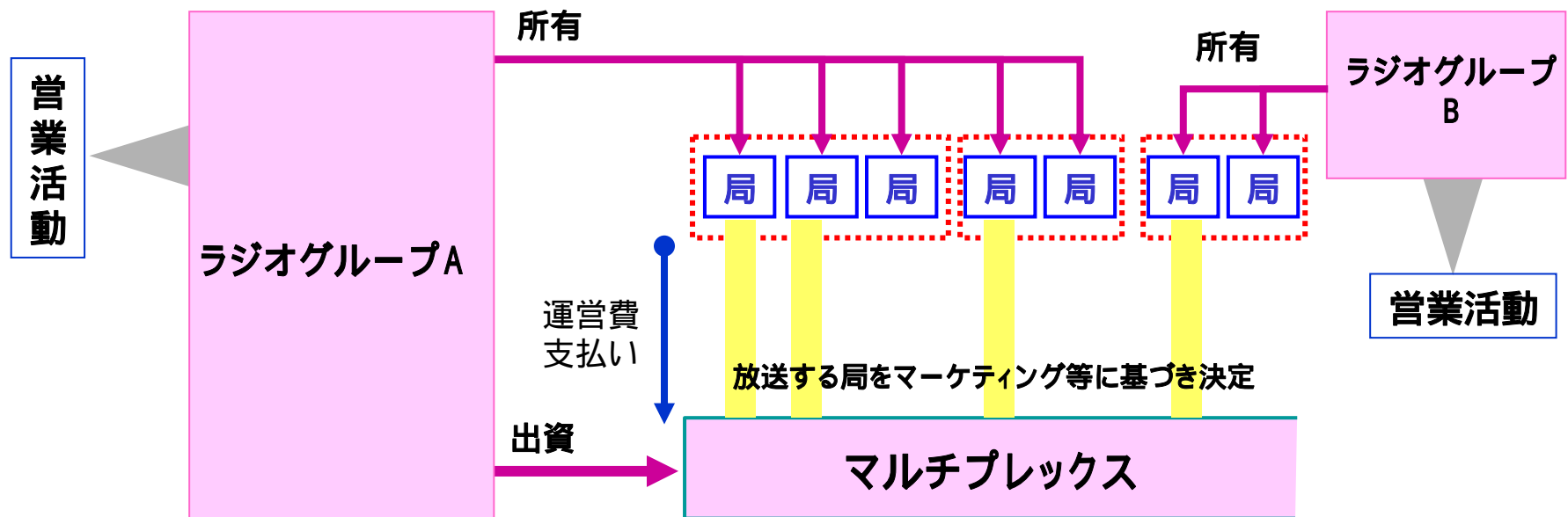
### <マルチプレックスとステーション(放送局)の関係>

傘下に複数のラジオ局を抱えるラジオグループがマルチプレックスにも出資をしており、デジタル局についても自社の営業活動のメニューに組み入れている。

どの局がそのマルチプレックス上で放送するかについては、マルチプレックス側に決定権がある(マルチプレックスが元々の免許条件を最終的に変更することはOfcomも認めている)。

局がマルチプレックスに支払う利用料は、使用する帯域の大きさや局の事業収入等の多寡で変化するケースが多い

(イメージ図)



## ポイント3 英国デジタルラジオ免許制度

### <マルチプレックス免許>

免許は競願処理。免許期間は12年間で、1回の更新が可能。

免許付与に際してのOfcomの考慮事項は以下のとおり。

全国マルチプレックスの場合

デジタル音声放送の推進に対する積極性、視聴可能エリア及びその達成時期、放送開始時期、営業継続力、サービス内容の多様性、デジタル放送の受信機普及に関する提案、チャンネル提供者との契約において公正・効率的な競争を確保するものであること。

地域マルチプレックスの場合

視聴可能エリア及びその達成時期、放送開始時期、営業継続力、サービス内容が地域性に沿ったものであるか、当該地域におけるサービス内容を多様化するものであるか、当該地域における需要・支持があるか、チャンネル提供者との契約において公正・効率的な競争を確保するものであるか。

マルチプレックス事業者はサービス内容を免許申請の際にOfcomに提示するが、具体的なチャンネル構成を特定する必要はなく、また、放送開始後サービス内容の多様性を縮小しない範囲で変更が可能。

### <放送局免許>

全国マルチプレックス上の放送局は全国免許、地域マルチプレックス上の放送局は地域免許が個別に必要。

免許は個別審査だが、原則付与され、無期限。

免許はマルチプレックス上の放送を保証するものではなく、放送局とマルチプレックス事業者の交渉次第。

# ポイント4 サイマル放送・データ放送に関する規制等

## <アナログサイマル放送に関する規制>

OFCOMは、全てのナショナルアナログ放送がナショナルマルチプレックス上でサイマル放送できるように、マルチプレックスの容量を確保しなければならない。

OFCOMは、全てのBBCローカルアナログ放送およびウェールズ、スコットランド、北アイルランドにおける全てのBBCアナログ放送を、それぞれの地域のローカルマルチプレックス上でサイマル放送できるように、マルチプレックスの容量を確保する義務がある。

それぞれにつき、マルチプレックス免許付与の条件とする。

## <データ放送に関する規制>

データ放送に割り当て可能なマルチプレックスの容量は、音声関連データは全体の20%、音声非関連データは全体の10%以下に制限。

## <伝送速度に関する規制>

ステレオ音楽サービスは128kbps、モノラル音楽サービスは64kbpsが最低限必要。モノラルのスピーチサービスは48kbps程度必要。

## <アナログからデジタルへの移行>

英国では、モアチャンネルとの前提でデジタルラジオを開始しているが、その後の普及動向を踏まえ、アナログ停波の検討を開始する予定。

# 米国のデジタルラジオの現状

---

# 米国のデジタルラジオの現状(全体像)

FCCによるメディア所有規制緩和後、放送局の統合が進んでいる。

## FCC

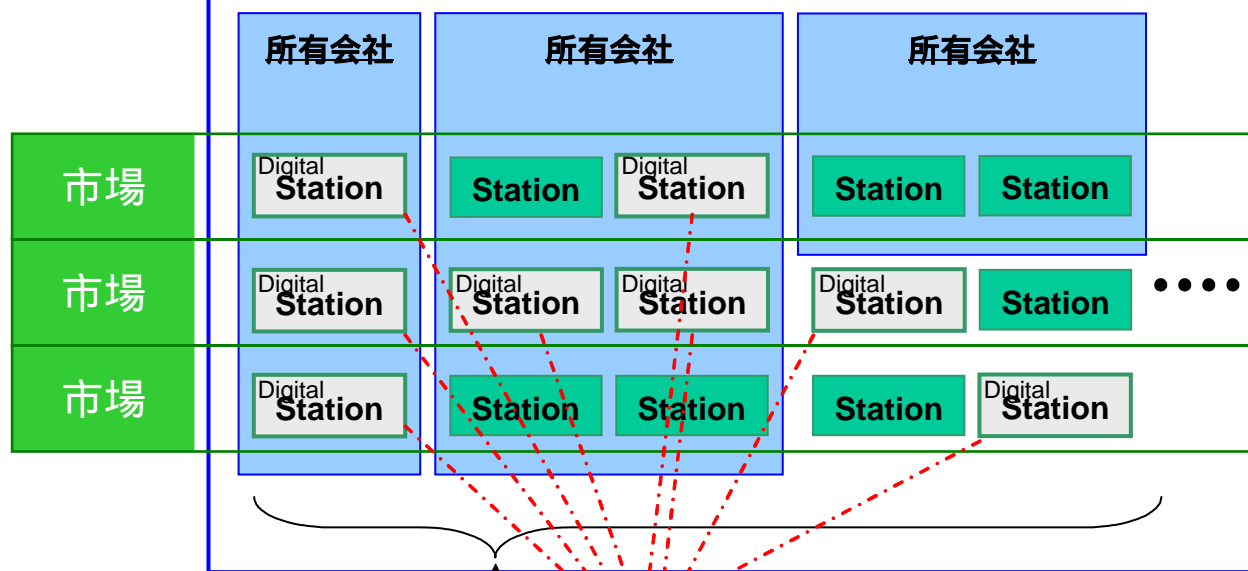
- 周波数割当（免許）についてはアナログと同様
  - 申請者のニーズに応じて種別（Class）に分類された放送局免許を割り当てる。
  - 買収等による免許の移動についても同様に申請が必要。
  - 申請内容及び局の運営者に問題がなければ通常付与、但し周波数帯域で競合が起きた場合はオークションとする。
  - 免許期間は8年。
- 2002年10月から、IBOC方式によるデジタルラジオ放送を認可。  
各局はIBOC放送開始10日前までにFCCに対して通知。

## RAB

- ・ スポンサーと局の情報交流促進
- ・ 広告関連市場調査
- ・ 広告紹介 等

スポンサー

## 放送局



聴取者

## iBiquity

- ・ IBOC技術のライセンス
- ・ ソフト等の提供
- ・ 技術支援 等

- ・ それぞれiBiquity社に費用（\$5,000以下）を支払い技術利用のライセンスを得る。
- ・ 取得後90日以内にデジタルの放送を行うことを努力目標とする。

(<http://www.ibiquity.com/hdradio/documents/FormSLA2004-A.pdf>)

# 米国のデジタルラジオの業界構造(1)

クリア・チャンネルの有する放送局数が突出している。  
iBiquity社はラジオ所有会社のほか、フォードやTIなど、業界外からも出資を得て展開している。

## 放送開始済のHD Radio局(全米で226局)

### iBiquity Digital 社の出資者

1991年にCBS等によって USA Digital Radio Partners, L.P.として設立

主要局所有会社(15社)

ABC, Beasley Broadcast Group, Bonneville International Corporation, Citadel Communications Corporation, Clear Channel Communications, Cox Radio, Cumulus Media, Emmis Communications, Entercom Communications Corporation, Hispanic Broadcasting Corporation, Radio One, Regent Communications, Saga Communications, Susquehanna Radio Corp., Viacom (Infinity Broadcasting)

その他(6社)

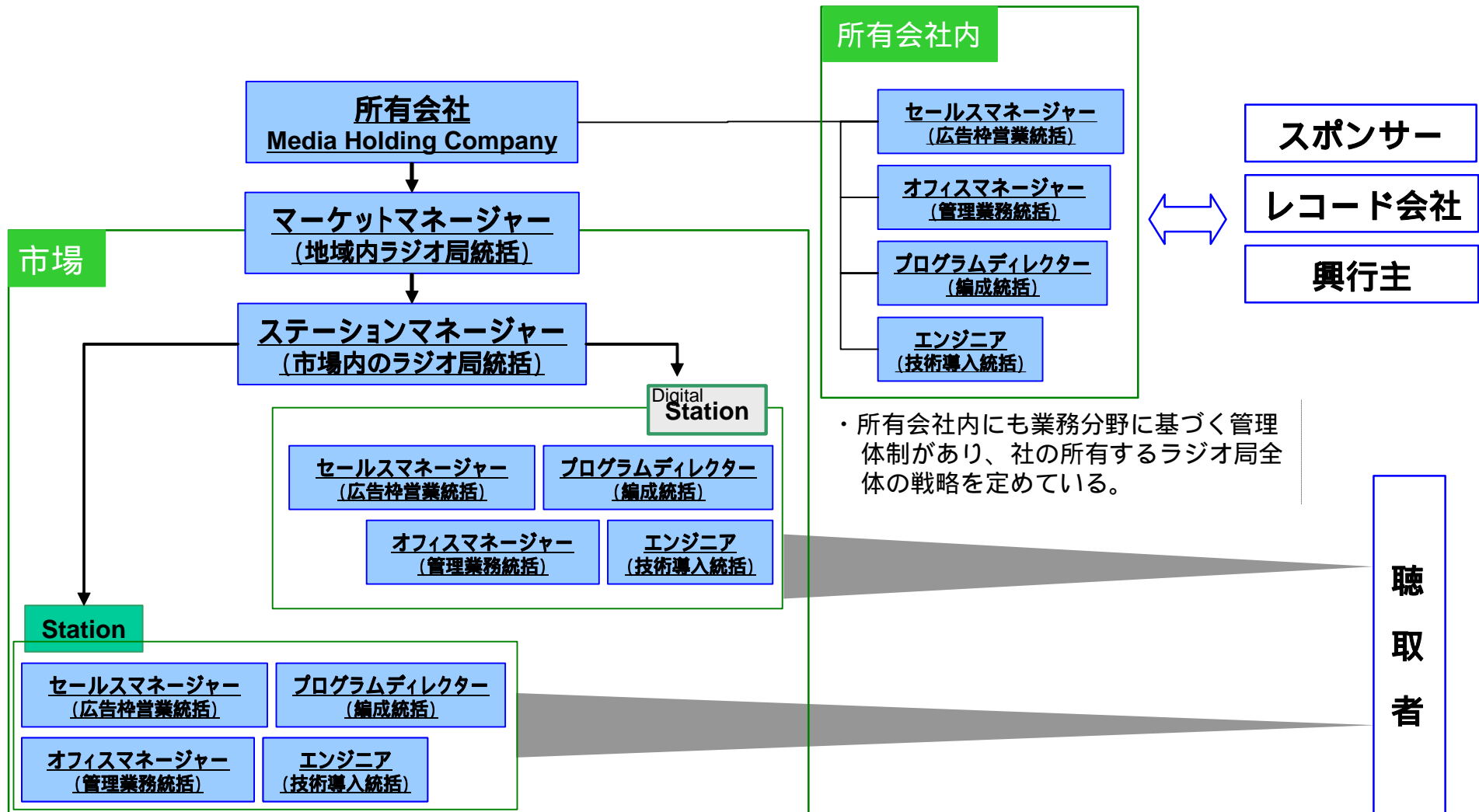
Allbritton New Media, Ford Motor Company, Gannett Co., Harris Corporation, Melbourne, Texas Instruments, Visteon Corporation

その他金融関係(13社)

主要な局所有会社・団体	局数
Clear Channel Communications	65
Infinity Broadcasting	11
Greater Media	10
Susquehanna Radio Corp.	10
Beasley Broadcast Group	8
Cox Radio	7
Entercom Communications Corp.	7
Radio One	6
Bonneville International Corp.	5
Univision Radio	5
Crawford Broadcasting Company	4

# 米国のデジタルラジオの業界構造(2)

ラジオ局所有会社のセールスマネージャーによる新規ビジネス分野が積極的に行なわれるとともに、所有する地域内のラジオ局を統括する機能が強力に働いている



# 米国のデジタルラジオの業界構造(3)

所有会社が局のセグメント化を進める一方、管理コストの削減にも努めている。  
全米レベルの広告は所有会社で営業活動を行っている。

## 局所有会社の戦略

### クラスター戦略

#### 【広告収入の増加】

- ・局を地域別或いは番組内容別のまとまりとして考える。
- ・ターゲットを明確化する。
- ・束ねることによるリスナー増加（リーチの増加）を図る。

### 管理コスト削減

#### 【統合的体制によるメリット】

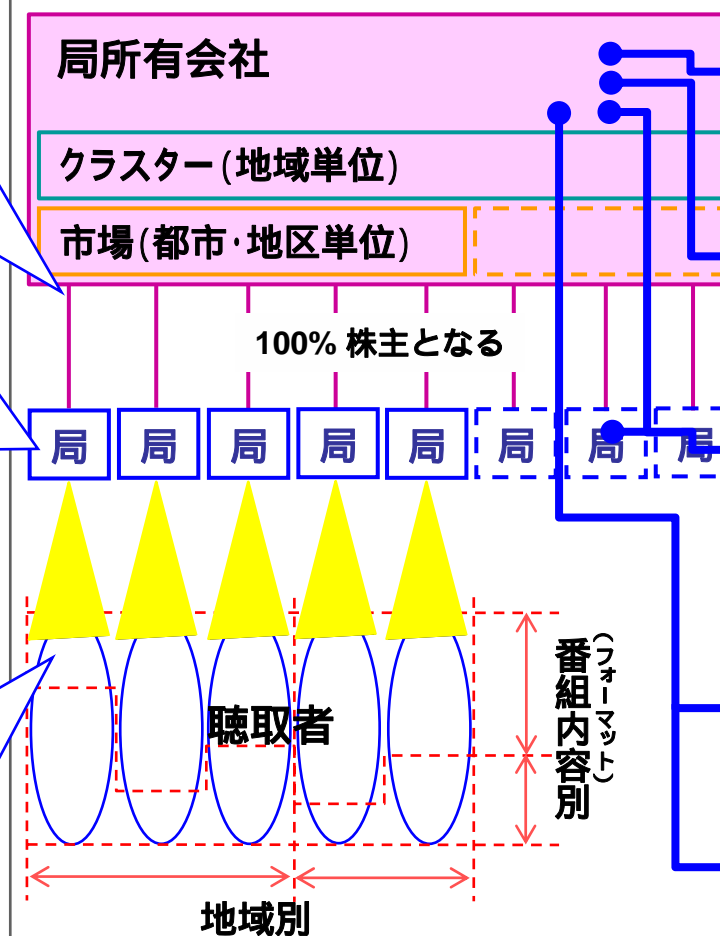
- ・経営統合による管理体制の効率化（人材統合、設備統合管理）
- ・投資力の向上

### セグメント化

#### 【効率的なリスナー開拓・確保】

- ・クラスターの観点からみた局構成の変更（フォーマットの変更）による弱点補強等
- ・クラスターのリスナー合わせたフォーマットの導入

## 業界構造



## 収入構造

広告費：全体の7割程度

全米スポット広告  
[ 18% ]

全世界で流されるコンテンツ

ネットワーク広告  
[ 5% ]

番組販売とセットになった広告

ローカルスポット広告  
[ 77% ]

個別営業、共同マーケティング形式

広告費以外：全体の3割程度

主催興行・チケット販売  
イベントの主催  
チケット等の販売代行






プロモータ費  
Independent Promoterの契約料

所有会社の局への関与の程度は社により異なるが、クリアチャンネルの場合局は所有会社の示すフォーマットに従い番組制作（自動放送するのみの場合も）。

# 主要国のデジタルラジオの現状






---

# 主要国のデジタルラジオの現状(1)

	方式	放送開始	免許	普及	普及推進 事業者等	サービス内容
	Eureka147	1995(BBC) 2001(DigitalOne)	・マルチプレックス免許 ・ステーション免許	86%(人口加'レヅ') 80万台(2004.9)	DRDB	Band 47マルチプレックス 約400チャンネル
	IBOC	2004	・ステーション免許 ・IBOC方式のライセンスが必要	400局がライセンス 取得済み 226局が放送開始	iBiquity社	方式的に局側の対応のみ でよいため、サービス内容 に変化はない
	Eureka147	1999.4	・ステーション免許 ・Network operator免許(周波数)	80%(人口加'レヅ') 150局 5 ± 3万台程度	Initiative Marketing Digital Radio	Band ・L-Band 16マルチプレックス程度 公共40、民放52
	Eureka147	1997.1	・マルチプレックス免許 ・ステーション許可(放送内容)	25%(人口加'レヅ')	Advisory task force Vivement la Radio Numerique!	L-Band(VHF Band 追加 の検討中) 11マルチプレックス程度
	Eureka147	1999.9	・マルチプレックス免許 (伝送) ・ステーション免許	75%(人口加'レヅ')	Digital Radio Roll- Out Inc.	L-Band 21マルチプレックス程度 75チャンネル

# 主要国のデジタルラジオの現状(2)

アナログ停波の詳細な内容  
(AM/FMの別など)は調査中

	サイマル放送	データ放送	政策的な動き	主なプレーヤー	セグメント化の 実施・非実施
	一部義務化 (BBC等)	現状ではあまり 行われていない。	アナログ停波検討開始予定	ラジオ局グループの出資によるマルチ プレックス、ラジオ局、送信会社	マルチプレックスが 実施
	方式的にない	方式的に不可能	IBOCへの移行を推奨 IBOC後の新基準検討の予 定あり	ラジオ局所有会社、ラジオ局、ラジオ局 所有会社・隣接業界等の出資による iBiquity社 (IBOC方式のライセンス保有)	クリアチャンネルなど では所有会社がセグメ ント化を実施。
	義務はない	ニュース・交通情 報など。実験用 チャンネルには192k のものもある。	2015年をめどにアナログ停 波を検討中	各州の公共放送局と民間放送局の共同 出資によるマルチプレックス、ラジオ局、 送信会社 (主にドイツテレコム)	マルチプレックスが 実施
	-	-	普及にむけてDABの法的 枠組み制定 (2004)	主に既存の送信会社が運営するマルチ プレックス (= 送信も行う)、ラジオ局	マルチプレックスが 実施
	デジタル番組 に時間制限	一部局で、曲名・ アーティスト名その他、 ニュース・気象情 報・交通情報など。	アナログ停波検討中。時期 は未確定だが早いとの予想。	主に既存のラジオ局が運営するマルチ プレックス、ラジオ局	-

# 参考文献

---

- "Radio - Preparing for the future / Phase 1 developing a new framework", Ofcom, 15 December 2004
- "Communication Market, 2004", Ofcom, 2004
- "DAB Digital Radio Set Forecast", the Digital Radio Development Bureau & Digital One
- Independently audited by Oliver & Ohlbaum Associates Ltd., 6 October 2004.
- "Review of competition: broadcasting transmission services", A consultation issued by the Director General of Telecommunications Office of Telecommunications, 9 September 2003
- "DCMS Review of DAB Digital Radio The BBC Submission", BBC, 2004
- "Independent Review of the BBC's Digital Radio Services", Tim Gardam, 2004
- "Digital Radio Moves into Drive Time", In-Stat MDR, 2002
- "Digital Radio: Do you Hear What I Hear?", In-Stat MDR, 2002
- "Digital Radio Automotive Markets", ABIresearch, 2004
- [www.ukdigitalradio.com/](http://www.ukdigitalradio.com/) (Digital One Radio)
- Communications Act 2003
- Broadcasting Act 1996
- [www.ibiquity.com](http://www.ibiquity.com)
- [www.fcc.gov](http://www.fcc.gov)
- 「世界の公共放送-デジタル時代の課題と財源2 ドイツ」、『放送研究と調査 2004/9』、NHK放送文化研究所、2004
- 「世界の公共放送-デジタル時代の課題と財源3 イギリス」、『放送研究と調査 2004/10』、NHK放送文化研究所、2004
- 「世界の公共放送-デジタル時代の課題と財源3 フランス」、『放送研究と調査 2004/11』、NHK放送文化研究所、2004
- 『NHKデータブック世界の放送2004』、NHK放送文化研究所、2004
- 『主要国の通信・放送体制 - フランス - 』、電気通信政策総合研究所、1996
- 『主要国の通信・放送体制 - ドイツ - 』、電気通信政策総合研究所、1997